

TP-8800 をご利用の皆様

TP-8800 リリースノート(Ver.1.16)

追加情報

発行日 2015 年 2 月 24 日

追加修正日 2015 年 3 月 3 日

白山工業株式会社

本情報は 2015 年 2 月 24 日にリリースされた TP-8800 用 F/W Ver.1.16(リビジョン 1191) の追加情報です。既にご連絡させて頂いたリリースノートに新情報を追加してご連絡いたします。

■ ファームウェア : Ver.1.16 (リビジョン 1191)

■ 修正事項 (追加情報 : 2015/3/3) :

下記 1 点の修正についての情報を追加いたします。

この情報の追加により、Ver.1.16 (リビジョン 1191) の修正項目は合計 7 項目となります。

- TP-8800 と LS-8800 が接続された状態で、LS-8800 の SD カードの残容量が少ない場合に両機器の電源が同時に入ると自動で測定が開始できない不具合を修正しました。

【発生ファームウェア】 LS-8800 Ver.2.00～Ver.2.30 / TP-8800 Ver.1.00～Ver.1.14

【発生する運用形態】 TP-8800 併用時に発生します。

【現象】 LS-8800 の SD カード残容量が少ない場合、TP-8800 が接続中でも自動での測定開始が出来ませんでした。

【対応】 TP-8800 接続時は SD カード残容量が少なくても自動で測定が開始できるように修正しました。

※両機器が接続された状態でのみ有効な機能です。

LS-8800 単体でご使用されている状態で SD カード残容量が少ない状態の時に電源を入れても測定は開始されません。

【WEB アクセスで表示されるログの例】

下記のログは、TP-8800 に WEB アクセスして取得できる『イベントログ (LS)』の表示例です。

LS-8800 の SD カード残容量が少ない状態で起動して動作させる時に、"SD card: Capacity shortage"と "Recording is skipped"を確認することができます。

この表示は、LS-8800 本体の LCD 上でもご確認いただけます。

○表示例

(年/月/日) (時/分/秒) (ログ)

YYYY/MM/DD 11:00:57 Power: Cold start

YYYY/MM/DD 11:01:06 Power supply voltage OK

YYYY/MM/DD 11:01:14 TP-8800: Connection ← ①

YYYY/MM/DD 11:01:21 SD card: Capacity shortage ← ②
 YYYY/MM/DD 11:01:37 Clock calibration: Start
 YYYY/MM/DD 11:02:17 3D-Positioning: Point Position
 YYYY/MM/DD 11:03:11 Clock calibration: TCXO Z=+41 G=+944
 YYYY/MM/DD 11:03:12 Clock calibration: Success
 YYYY/MM/DD 11:03:16 Measurement: Start ← ③
 .
 .
 YYYY/MM/DD 11:42:02 Clock calibration: Success
 YYYY/MM/DD 11:42:04 Measurement: Buffer read request ← ④
 YYYY/MM/DD 11:42:45 Measurement: Recording is skipped ← ⑤
 .
 .

- ① --- TP-8800 の接続を検知
- ② --- SD カード残容量が少ないことを検知
- ③ --- 測定開始
- ④ --- 測定データ SD カード書き込み準備
- ⑤ --- SD カードへの書き込みをスキップ

以上です。

=====2015 年 2 月 24 日にご連絡した内容=====

この度、TP-8800 のファームウェアがバージョンアップされました。また、LS-8800 でも TP-8800 の機能に関連した不具合が修正されましたので、本リリースノートにも併記します。今回のバージョンアップでは合わせて 6 項目の不具合が修正されました。今回のファームウェア変更は、2015 年 2 月 20 日以前に出荷された全製品が対象となります。

- ファームウェア Ver.1.16 の機能は、LS-8800 のファームウェア Ver.2.30 以降と連動した機能を持っています。本バージョンは LS-8800 の最新ファームウェア(Ver.2.40)とあわせてご使用ください。
- ファームウェア Ver.2.00～Ver.2.11 が搭載されている LS-8800 はアップデートする際に以下の点にご注意ください。
注) 通信ユニット TP-8800 を接続してご使用のお客様は、LS-8800 のアップデートを実施する際に必ず TP-8800 とのケーブルを外した状態で行ってください。外さずに行った場合、アップデートの途中で先に進まなくなり正常に動作しません。この不具合は Ver.2.20 にて修復されております。

■ ファームウェア : Ver.1.16 (リビジョン 1191)

■ 修正と変更事項

下記の 6 点について修正、変更しました。

1. 未送信の ACT パケットが TP-8800 内に退避されずにデータが失われる不具合を修正
【発生 FW バージョン】 TP-8800 Ver.1.00～Ver.1.14
【現象】 ACT を受信するサーバ側と通信ができない場合に、TP-8800 が保持している未送信のデータ退避処理に失敗することがありました。
【対応】ACT 退避領域をチェックしてデータ退避処理が失敗しないように修正しました。
2. 動作ステータス情報 (A9 パケット) に含まれている緯度経度の表記を変更

【発生 FW バージョン】 TP-8800 Ver.1.00～Ver.1.14

【現象】 動作ステータス情報の緯度・経度の値が、度の 100 倍で表記されていました。

【対応】 他の白山工業製品と同様の表記へ変更しました。

動作ステータス情報の緯度・経度の値を、度+分の 100 倍表記へ変更。

(例 旧 : N3567.3837 → 新 : N3540.4362)

3. 動作ステータス情報 (A9 パケット) の一部の情報が抜ける不具合を修正

【発生 FW バージョン】 TP-8800 Ver.1.00～Ver.1.14

【現象】 動作ステータス情報 (A9 パケット) の項目の一部で値を入れずに抜けた状態で送信されることがありました。

【対応】 動作ステータス情報 (A9 パケット) 作成において情報更新のチェック方法を修正しました。

4. 動作ステータス情報 (A9 パケット) の GPS 関連情報 (1 項目) の値が『0』(ゼロ)で出力される不具合を修正

【発生 FW バージョン】 TP-8800 Ver.1.14

【現象】 動作ステータス情報 (A9 パケット) の tcalerror の値が常に『0』(ゼロ)で出力されていました。

【対応】 読み込むパラメータの修正を行い、正しい値が出力されるように修正しました。

5. TP-8800 リアルタイム情報画面のアルマナック収集日時が、実際の収集日時と異なる不具合を修正

【発生 FW バージョン】 LS-8800 Ver.2.00～Ver.2.30

【現象】 LS-8800 ではアルマナック情報が正常に更新されているにもかかわらず、TP-8800 リアルタイム情報画面のアルマナック収集日時が、過去の日付を表示していました。

【原因】 LS-8800 がアルマナックを収集したときに、TP-8800 リアルタイム情報画面用に収集日時を保持していなかったためです。

【対応】 LS-8800 にアルマナック収集日時を保持するようにしました。

6. TP-8800 リアルタイム情報画面及び SNMP の出力値の時刻情報の不具合を修正

【発生 FW バージョン】 LS-8800 Ver.2.30

【現象】 TP-8800 の web リアルタイム情報表示画面と SNMP 出力値において、GMT (グリニッジ平均時) ではなくローカル時間 (地方時間) の値が表示/出力されました。

- ・ web リアルタイム情報表示画面 : アルマナック収集日時
- ・ SNMP 出力値 : アルマナック収集日時
: うるう秒の取得値

【対応】 LS-8800 が TP-8800 へ出力する時刻情報を GMT (グリニッジ平均時) で出力するように修正しました。

以上です。